

下肢静脈瘤手術を受けられる

説明医師

様へ

看護師

月日	月 日		月 日
経過	入院・手術当日（術前）		手術当日（術後） 退院日
目標	○心身共に安定した状態で手術が受けられる ○術前ケア・準備に対し理解できる		○術後合併症を起こさない ○歩行できる ○日常生活の注意点が理解できる
食事	朝より絶飲食となります（帰室6時間後より水分はとれます） 		常食となります  
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します 医師が静脈瘤に沿ってマーキングを行います  午前（ ）時からの手術です 午後（ ）時からの手術です  リストバンドを手首に装着します（退院日まで装着します） 手術室まで行きます		体温・脈拍・血圧を測定します  酸素マスクをつけています 尿の管が入っています 創部はガーゼで圧迫しています 大腿部はサポーターで圧迫します
			体温・脈拍・血圧を測定します  朝、酸素マスクを外します 尿の管を午前中に抜去します 医師が創部の観察を行います 手術後の圧迫はその際に解除し、ストッキングを装着します 退院時にリストバンドを外します
注射・内服	※常用薬を持参し薬剤師に渡してください 		持続点滴を行います 持続点滴は、なくなり次第終了となります  手術後、 抗生剤の点滴を行います
			※常用薬の服用を再開してください 鎮痛剤の内服が開始となります  6時と14時に抗生剤の点滴を行います  14時の点滴が終了後、 点滴の管を抜きます
行動	エラスコット包帯10cm幅（ ）本と弾性ストッキング（パンティーストッキングタイプ）を持参してください  手術前にトイレを済ませ、入れ歯、時計、アクセサリ、眼鏡を外してください  手術着に着替えて歩いて手術室へ行きます		ベッドで安静にします  フットポンプを装着し血流を良くします  足先の運動を心がけてください 麻酔がさめたら、安静の制限はありません
			尿の管を抜きます。 看護師が体を拭きます 手術着から寝巻きに着替えます  安静制限はありません（病棟内歩行可能です） 血栓塞栓予防のため必要以上の安静臥床は避けましょう 弾性ストッキングを履いて退院してください
説明	医師より説明 入院治療計画について 手術について 麻酔について 		医師より説明 手術結果について 
	看護師より説明 入院生活について 術前オリエンテーション 		看護師より説明 深部静血栓について 
	薬剤師より説明 薬について 		看護師より説明 退院後の日常生活の注意点について 次回の外来受診について 弾性ストッキングの履き方について 

09-183-4
2019.10.3 版
* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。
* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。京都第一赤十字病院
* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。